

こころのせい

第61号

令和3年10月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院グループの理念・基本方針 ◆

理 念

敬天愛人

基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。

日野原重明先生に与えていただいたこと

Part 1 院長 山口 龍彦



はじめに

日野原重明先生は戦後の日本の医療の大恩人とでもいうべき人であることは誰に聞いても間違いないところですが、私の携わるホスピス緩和ケアの分野でも、多くのご著書や講演等を通して目指すべき指針を与え、導いた偉人でした。私が今日、曲がりなりにもホスピス緩和ケアの仕事をさせていただいているのも、日野原先生により教え導かれたからに他なりません。日野原先生は生前、実に多くの医師たち、看護師たち、コメディカルの人たち、さらに患者さんたち、またボランティアや一般の人たちを大きな情熱を持って教え導いてくださった人でしたが、私も日野原先生の沢山の弟子のうちの末席にいる一人であると自認し、心から感謝しています。

日野原重明先生が105歳でお亡くなりになって早4年が経ちました。テレビに出ることもなくなり、たくさん書かれたご著書も書店で見ることなくなりました。先生を話題にお話することも減ってしまって、寂しく思っているのは私だけではないと思いますので、日野原先生から私が学んだことのごく一部でも皆様にお伝えすることが弟子の使命と思って稿を起すことにしました。

30年前の癌患者の苦しみ

私が佐川町の町立病院で整形外科医師として勤務していた約30年前のことです。私はその病院の整形外科医長として毎日のように沢山の手術を行っていました。骨折や当時普及し始めた人工関節の手術で多くの患者さんに喜んでいただくことは実にやりがいのある仕事でした。

しかし、私にはもっと関心があり、勉強してみたいことがありました。それは、癌の末期になった患者さんの苦しみを取る方法について学ぶことでした。

当時、がんの患者さんはご自分の正しい病名を教えてもらっていませんでした。胃がんは「治りにくい胃潰瘍」、肺がんは「肺の治りにくいカビ」などと伝えられ、手術を受けていたのです。

でも、再発し病状が悪化してくると医者は患者に責められる事になります。「私は癌でないのになぜ治らないのですか？」と。嘘の塗り固めでは通用しない時期になると医師は患者の側（そば）に行けなくなります。「痛い。苦しい。なぜなの？早く治して。」と責められるからです。

心ある医師ほど無力感や罪悪感に苛まれていました。当時は癌の痛みを止める方法が普及していなかったのです。そのため、当時の癌は、痛み苦しんで死に至る恐ろしい病気でした。癌という病名を伝えることは、患者を絶望さ

せ、早く死に迫いやると考えられていて、当時の医者は「癌」という言葉を患者の前で口に出すことができませんでした。患者は医師を呼べどもなかなか来てもらえず、疑心暗鬼になって家族に当たり散らすしかありません。家族も真実を知らせないまま、涙を堪えてしらを切り続けるしかありません。

その結果は、患者は医師に見放されたと絶望し、家族とも心を通わせることができない孤独と、耐えられない痛みの中で亡くなっていくことが多かったのです。

ホスピスに憧れて

私は日野原先生のご本を読んで、西洋の「ホスピス」のことを知りました。そこでは、癌患者は痛みから解放され、神父さんや牧師さんたちが心のケアをします。そして、ボランティアからも音楽療法や読書の手伝い、時には好きな食前酒のサービスなど手厚くもてなしてもらって、人生の最期の時間を楽しく有意義に過ごすことができるのです。

日野原先生は、当時の日本の癌患者の悲惨な状況をよくご存知でした。癌患者さんたちを痛みや恐怖から救うためには、日本にもホスピスが必要と考えておられたのです。そのためには、この分野の先進国から直接学ぶことが大切と考えて、海外のホスピスを見学する旅行に行かれたことをご著書に書かれていました。

当時、先生は聖路加国際病院の院長をされておられたのですぐに住所は分かります。日本を代表するような大病院の有名で超多忙な先生ですから、読んでくださるかどうかは分かりませんでしたが、私は思い切って手紙を出してみました。今度、ホスピス見学旅行に行かれる時には私も同行できませんでしょうか？

すると、2〜3日してお電話がかかってきました。それは夜の11時を過ぎていたと思います。こんな真夜中に一体誰だろうと訝しく思いながら電話をとると、日野原先生が直接お電話をくださっていたのでした。日野原先生は当時80歳でしたが、夜遅くまで、時には明け方で原稿を書くことが多く、11時などはまだ宵の口だったのです。

ボストン近郊のホスピス

お電話をいただいた冬の夜から半年が過ぎ、1992年の夏、私は日野原先生のホスピス見学ツアーに参加してアメリカの東海岸にあるボストンに降り立ちました。

日野原先生の古くからのご友人であるボストンのベス・イスラエル病院（当時）のマンキン院長の手厚いもてなしを受け、日野原先生の希望を元に綿密に組まれたプログラムに沿って一行18名はボストンを拠点にさまざまなホスピスを見学しました。

アメリカで最も古い（といっても当時まだ十数年の歴史なのですが）コネチカットホスピスはニューヘブンの風光明媚な場所に立てられた50床ほどある大きなホスピスでした。部屋の大きな窓からは庭の芝生や木々を眺めることができ、患者にはさまざまなアクティビティのプログラムがあって、編み物や、かご作りや、絵を描くことにもチャレンジできるとのこと。多くのボランティアにも支えられていました。

ボストン郊外の2世帯用住宅を改装したホスピスは、定員は6名ぐらいの小さな施設でしたが神学博士のホスピス長がいて、医療は訪問看護のナースと訪問診療のドクターによって行われていました。一人の女性患者は私たち一行を暖かく迎えてくださり、鼻に酸素のチューブをつけていましたが、チューブを長くして庭の散歩もできるし、花壇の手入れもできる、朝は鳥の声で目を覚まし、ウイークエンドにはご主人と酸素を持ってドライブに行くのよ、と終始笑顔でした。

エイズのホスピスも見学しました。また、訪問看護師と訪問診療による在宅のプログラムも見学しました。

必要とされる仕事をボランティアも含めて組織化し、多様なニーズに応えているアメリカの人たちのバイタリティにとっても刺激を受けたのを覚えています。多様なホスピスを見学できたことは、後に高知厚生病院のホスピス・緩和ケア病棟をデザインするときに変役に立ちました。

ビリングス博士の講義

ベス・イスラエル病院の中でも私たち一行に対するいくつかプログラムが組まれていました。中でも、一行のうち医師と医学生と看護師の8名に対して癌の痛みのコントロールの仕方についての専門的な講義があり、その内容に大変驚きました。

癌の痛みの9割以上はコントロールできる痛みであること。痛みの強さにも、使用する薬（モルヒネ）の量にも個人差が大きいこと。一人ひとりに適切な量があり、最適な量を投与しなければならないこと。フェンタニルに舌下錠や、貼り薬があり使用され始めていること（日本ではこの講義から20年経って実現した）。持続皮下注射がとても有用なこと、等々。痛みのコントロールのエッセンスを有名なホスピス医であるビリングス博士からこの時直接学ぶことができたことは、私にとって大きな自信となりました。この時学んだ疼痛コントロールに関する基礎的知識は、現在においてもほとんど古くなっていないのです。 つづく（2021年6月記）



新型コロナウイルスワクチン接種への取り組み

経営企画室 室長 廣松聖智

高知市では2021年5月6日より住民個別接種が開始されました。

当初は、高知市の予約システムの問題等があり混乱がございましたが、当院では、ワクチン接種体制を整え段階的に接種回数を増やしていき、一日に450回の接種を行う日もございました。

累計接種回数は7月末現在で約12000回になりますが、アナフィラキシーなど重い副反応は無くスムーズに行えております。

今後も高知市の皆様が少しでも早くワクチン接種頂ける様、職員一同努力してまいります。

ユニフォームが新しくなりました！

看護部長 西村勇子



外来



病棟



介護老人保健施設 こうせい

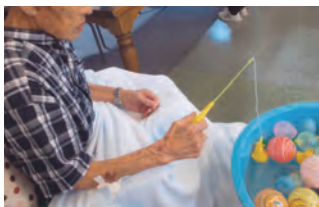


通所リハビリテーション こうせい

院内行事

夏祭り

緩和ケア病棟 師長 井田 理恵



8月19日夏祭りを行いました。感染防止のため各部屋または1人1人談話室に来て頂き、たこ焼き、かき氷を食し、「なつかしい」「はじめてや」とヨーヨー釣り、風船キャッチを楽しんで頂きました。

日頃食欲がない方も「おいしい」といつもより食が進み笑顔が見られていました。

これからも感染対策をしながら、楽しいひと時が過ごせるよう企画していきたいと思えます。

リレーコーナー

こじゃんと気にいっちゃう

経営企画室 室長 廣松聖智

今回から始まった職員のお気に入りリレー形式で繋いでいくコーナー。

初回は経営企画室の廣松が担当させていただきます。

私のお気に入りですがこのドレッシングです。

野菜はもちろんチキンソテーや唐揚げにかけるとよし。パスタに和えてもよし。是非一度お試しください。

※フンドーキン醤油株式会社

チーズ入りカレー風味ドレッシング(3種のチーズ)420ml ￥486(税込)

※次回は緩和ケア病棟(井田師長)にバトンをお渡しいたします。



掲示板

ご存じですか？

地域連携・緩和ケア支援室 乾 亜矢

令和3年8月1日から介護保険施設における負担限度額が変わっています。（当院の場合は介護老人保健施設こうせいが対象となっています。）

介護保険施設に入所されている方で、今まで介護保険負担限度額証お持ちの方も対象にならない場合や請求金額が変わる場合がありますのでご確認ください。

認定要件の預貯金額の変更

	R3.7月まで	見直し後(R3.8月～)
年金収入等※80万円以下(第2段階)	単身 1,000万円	単身 650万円、夫婦 1,650万円
年金収入等 80万円超120万円以下(第3段階①)	夫婦 2,000万円	単身 550万円、夫婦 1,550万円
年金収入等 120万円超(第3段階②)		単身 500万円、夫婦 1,500万円

※公的年金等収入金額（非課税年金を含みます。）+その他の合計所得金額。

介護保険入所者・ショートステイ利用者の食費（日額）の負担限度額の変更

	施設入所者		ショートステイ利用者	
	R3.7月まで	見直し後(R3.8月～)	R3.7月まで	見直し後(R3.8月～)
年金収入等※80万円以下(第2段階)	390円	390円	390円	600円
年金収入等 80万円超120万円以下(第3段階①)	650円	650円	650円	1,000円
年金収入等 120万円超(第3段階②)	650円	1,360円	650円	1,300円

補足給付の対象ではない方※

ご負担いただく額は、施設と利用者の契約により決められています。

ご負担いただく額は、施設と利用者の契約により決められています。

※食事の提供に要する平均的な費用の額（基準費用額）は1,392円⇒1,445円（日額）に変わります。

（注）生活保護受給者や高齢福祉年金受給者等（第1段階）の負担限度額は食費・居住費ともに変更ありません。

病院窓口、地域連携室にパンフレットがありますので、お聞きになりたい方はおこえかけください。



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学会より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医師の卒後臨床
研修施設の
認定を受けまし
た



朝晩は少し過ごしやすくなりました。散歩に行くと
どんぐりが落ちていて、ついつい拾いたくなります。昨
年あまりにきれいだったので玄関に飾っていたら虫
が・・・やっぱり出てきていました・・・。今年は見るだけ
にしようと思います。A. I



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

■ 介護老人保健施設こうせい ■ 通所リハビリテーションこうせい
Tel.088-882-6205

■ 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター
Tel・Fax.088-885-6714

■ 居宅介護支援事業所こうせい
Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

こうせい

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

■ 看護小規模多機能型居宅介護こうせい ■ グループホームこうせい